

# OU ビジョン 2021

(Osaka University)

— 知の協奏と共創による University 4.0 への始動 —

大阪大学は、1931年の建学以来、かねて大阪の地に根づいていた懐徳堂、適塾の市民精神を受け継ぎつつ、自由闊達な市民社会とのつながりを大切に、地域とともにあらんとする精神を脈々と育んできました。活気溢れる市井に進んで門戸を開き、その豊かな多様性の中で、人類の理想を実現せんと努力する有為な人材を社会に輩出し、しなやかに実直に普遍の真理を見極め、世界最先端の学術研究の成果を世界に還元し続けてきました。これこそが「地域に生き世界に伸びる」をモットーとする大阪大学の真価です。大阪大学は、この真の存在価値にさらなる磨きをかけ、社会の旗手として、広く世界に夢と変革をもたらす原動力となります。

現代社会において、人類は、地球環境の悪化、資源の枯渇、宗教や民族間対立など、地球規模の困難な課題に直面し、深まる不安の中で、私たち一人ひとりの未来への展望は大きく揺るがされています。また、人類は、予想をはるかに超えたグローバル化の波に翻弄され、寛容さを忘れ、平和への道筋を見失いつつあります。社会の安定的な持続可能性を取り戻すためには、科学技術の進展に加え、人や世の在り方に関する深い思索を常に伴うことが不可欠です。こうした総合的な知を創出し、希望ある未来を切り拓くことこそが真の意味でのイノベーションであり、今、大学に求められる使命といえます。

そのような社会からの負託に応え、先人たちから引き継いだ歴史を次世代へと確実につなぐために、大阪大学は、創立90周年にあたる2021年を見据えた第3期中期目標期間の6年間を「進化の期」と位置づけ、たゆまぬ自己変革の指針を「OU (Osaka University) ビジョン2021」として、ここに示します。このOUビジョン2021は、大阪大学が国立大学法人として新たな船出を迎える際に宣言した「大阪大学憲章」の基本理念を、第3期中期目標期間において実装することを目的としています。

わが国においてイノベーションが遅々として進まない要因として、組織の内と外の間に立ちはだかる厚い

「壁」と、その「壁」の内側で作られる狭い見地に差配されたコミュニティの存在が大きいと考えられます。そこで、OUビジョン2021は、学内と学外を隔てる「壁」、また、学内における部局間の「壁」を取り払い、大学の知を広く世のため、人類社会の幸福のために開放すること、つまり「Openness (開放性)」を基軸とした上で、「Open Education」、「Open Research」、「Open Innovation」、「Open Community」、「Open Governance」の五つの柱から構成されています。大阪大学は、利害や立場を超えたあらゆる可能性の交差 (cross) を実現します。すなわち、自ら誇りとする卓越した知の探求を礎としながら、学問分野間で知の交差に挑むとともに、社会の多様な担い手と協働することで、「知の協奏 (Orchestration) と共創 (Co-creation)」を実現する創発の場へと進化していきます。

大学のシステムの変革を辿ると、古典の研究と教育から始まり専門職養成の機関へと変遷を遂げた中世から近世の大学モデルが University1.0、研究の重視とともに研究と教育を一体化させたドイツモデルが University2.0、大学院制度を新たに設け、さらに社会貢献という使命を提唱したアメリカモデルが University3.0 とするならば、今日の大学は University3.0 の直中にあります。大阪大学は、その先に未知なるモデル University4.0 が存在することを確認し、OUビジョン2021のもと、「知の協奏と共創」により University4.0 の実現を目指します。さらに、学生・教職員をはじめ大阪大学のすべての構成員が一丸となり、お互いの関わり合いの中で潜在的な革新性をゆり起こすことで、「世界屈指の研究型総合大学」へと発展していきます。

大阪大学総長

西尾章治郎

# Open Education

未来を切り拓く「知の探検者」を育成するために、大学と社会のもつ教育力を交差させ、産官のみならず広く市民社会と協奏し、公共性を備えた知を生み出す「オープンエデュケーション」を実現します。

## ビジョン

大阪大学の教育の基本は、学問の真髄を極める専門性の獲得に加え、幅広い見識に基づく確かな社会的判断力としての「教養」、異なる文化的背景をもつ人と対話できる「国際性」、自由なイメージネーションと横断的なネットワークを構想する「デザイン力」を備えた人材の育成です。

世界の状況を見ると、複合的かつグローバルな課題が数多く存在します。国内に目を転じれば、「課題先進国」と呼ばれるように人口減少や高齢化等に伴う問題が山積しています。このような時代においては、細分化された専門分野に閉じたアプローチではなく、問題の本質を見極め、解決のための手立てを考える教育が求められます。大阪大学の有する多様な知や技能の活用と統合を図ることにより、新たな社会的価値を創出するイノベーション人材を育成することは大学の重要な使命です。

大学を「知の社交空間」として、産官学のみならず広く市民社会に開き、オープンエデュケーションによる新たな学びの場を実現します。もはや高等教育は大学人だけが独占すべき営みではなく、問題の発生している現場にいる人々との共創も視野に入れるべきです。大学の専門知と産業界、市民社会との協奏と共創によるオープンエデュケーションは、専門知と社会の「新たな統合」を生み出していきます。

## 目標

● **社会の負託に応える人材の育成を目指す学部教育の推進**  
学問の社会的意義を考える力を身に付けるための主体的な学びの実現を中心とした学部教育の改革を行います。他大学に先駆けて実施してきた高度教養教育や高度副プログラム等の一層の充実を図り、社会の負託に応える教育に取り組みます。

● **新たな社会的価値の創出に挑む人材の育成を目指す大学院教育の推進**  
技術的新機軸の開発偏重から新たな社会的価値の創出へとイノベーションの視野を拡大し、それに応える多様な人材育成のための新たな教育プログラムの構築に取り組みます。

● **グローバルに通用する教育を実現するための制度改革**  
部局との協力のもと、外国語学部の教育リソースの活用、海外の大学と連携した教育プログラムの拡充、留学生の受け入れと派遣の拡大、学生の英語によるコミュニケーション能力の向上等に取り組みます。

● **多彩な人材獲得のための入試制度改革**  
様々な「問い」を見出し、自らその解決に取り組む主体的な学びを実現するため、多彩な人材獲得に向けて入試制度を見直します。

● **多様な学びを実現する学修環境の整備**  
学生に対する生活支援、学修支援、キャリア形成支援を充実させ、安心して学修に取り組むことができる環境を整備します。また、学生の抱える様々な課題への支援を強化します。



# Open Research

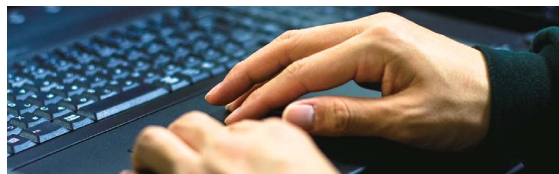
研究者のときめきと自由な発想による学術研究を基軸とし、専門分野を超え、広く世界と協働する新たな知の創出を目指す「オープンリサーチ」を推進します。

## ビジョン

大阪大学は、「オープンリサーチ」の考えのもと、世界最高水準の基礎的、基盤的研究や学際融合研究が生み出す多様な知の創出と深化を通じて、心豊かな人類社会の発展に寄与し、世界的課題解決に貢献することのできる世界屈指の研究型総合大学を目指します。特に、卓越した研究力を有し、先端的な設備を備えた大阪大学が誇る世界トップレベル研究拠点(WPI)および共同利用・共同研究拠点等は、その先導的役割を担います。

近年、超ビッグデータ時代を迎え、ビッグデータの高度な統合利活用と新たな知的価値の創造を通じた安心安全な社会の実現が喫緊の課題となっています。大阪大学のもつ高度な情報関連技術を駆使し、「データビリティ」、つまり、「利用可能な超大量データを将来にわたる持続可能性を保持しつつ責任をもって活用すること」による新たな科学の方法を探索します。「データビリティ」は、既存の科学技術・学術の新たな地平を切り拓くと同時に新たな学際融合研究の基盤となります。

これらの研究基盤は、高度な研究マネジメント能力と高い倫理感をもった研究者を多数輩出し、わが国の学術を支える多様な人材が大阪大学に集うための求心力となります。



### ●真髄を極めた学術研究の基盤強化と国際化

大阪大学の全学問領域にわたり、基礎的、基盤的研究を推進し、多様な知に耕された社会的土壌を盤石していきます。

### ●不正を起こさない環境整備と構成員の意識改革

「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」および「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)」に基づき、大阪大学の構成員の意識改革を図り、研究における不正行為および公的研究費の不正使用の防止策を徹底します。

### ●世界最高峰の研究拠点への進化

世界屈指の研究型総合大学に向け、大阪大学の強みと個性を最大限に発揮した世界最高峰の研究拠点を複数形成し、研究活動の多面的・多角的な展開を推進します。

### ●データビリティに基づいた異分野融合による新学術領域の創成

安心安全な社会の実現に寄与する公共的、経済的価値の創造を促進するため、データビリティに基づいた新たな科学の方法を探索します。超ビッグデータの高度な統合利活用を可能とし、知の交差から生み出される新たな学際研究を創発します。

### ●未来に輝く若手研究者の育成

大阪大学ひいては世界の将来を担う若手研究者が、ときめきと自由な発想を大切に、自らの研究活動に対して澆刻と挑戦することができる活躍の場を設けます。

### ●卓越した知の拠点としての特色ある共同利用・共同研究の推進

先端的な設備を備えた共同利用・共同研究拠点のさらなる強化を図り、研究力および技術開発力において世界を牽引しつつ、組織の壁を越えた幅広い共同利用・共同研究の推進に邁進します。



## 目標

# Open Innovation

「産学連携から産学共創へ」をコンセプトに掲げ、社会のニーズに基づく基礎研究の課題を発掘し、新たな社会的価値の創出につながる「オープンイノベーション」に挑戦します。

## ビジョン

人類が抱えるグローバルで複合的な課題を解決し、より良き未来社会を構築する鍵は、オープンイノベーションの推進です。大阪大学は、世界でトップクラスのイノベティブな大学として、さらに先進的な産学連携に取り組みます。

大阪大学は、従来の産学連携のスタイルをパラダイムシフトさせ、新たな社会的価値の創出を目指した「産学共創」として、技術やサービスの創出だけでなく、それらのユーザーを視野に入れた国内外の異業種や異分野の協働にまで視野を広げていきます。多様な想いや願望が交差することによって新たな社会的課題が生まれ、またその解決策を社会に提示していくことで新たなシステムを構築するオープンイノベーションの新しいステージに、大阪大学は果敢に挑戦します。

大阪大学が推進する「産学共創」は、参画するすべての人々の豊かな才能、着想、さらには感性の相互啓発を可能とします。それは、真に「何をすべきか」を考えられる「What to do重視の人材」を生み出し、社会と大学の間で人と価値の循環を創出するものとなります。



### ●大阪大学方式の包括的産学共創の促進

社会のニーズに基づく新たな基礎研究の課題を発掘し、オープンな知識の相互流動を実現する「University-Industry Co-Creation」の標語のもと、大阪大学方式のオープンイノベーション型産学共創を推進します。

### ●大阪医歯薬ネットワークによるトランスレーショナルリサーチの事業化推進

大阪に拠点を置く医薬品メーカー、医療機器メーカー、医薬基盤研究所等と連携し、基礎研究から製品化へのトランスレーショナルリサーチを実施します。また、早期事業承認による医歯薬研究成果の産業化を目指します。

### ●産学共創による人材育成拠点の形成

「共同研究講座」や「協働研究所」等の産学連携制度を産学共創の仕組みに深化させる過程において、グローバルな視野をもち産業界のニーズに応えられる人材や大阪大学発の革新的イノベーション創出に貢献できる人材を育成します。

### ●出資事業による革新的技術の社会還元

産業競争力強化法に基づく認定特定研究成果活用支援事業者に対する出資、人的あるいは技術的援助等を通じて、大学における技術に関する研究成果の事業化や教育研究活動の活性化により経済成長と地域発展に貢献します。



# Open Community

「地域に生き世界に伸びる」をモットーに、学術、文化、芸術、医療の拠点として、地域社会やグローバル社会が抱える諸課題の解決や社会の心豊かな発展につながる貢献を目指し、多様な知と人材が交差する「オープンコミュニティ」を実現します。

## ビジョン

## 目 標

「知の社交空間」としての大学は、地域社会やグローバル社会に開かれ、知が自由に往来する場です。大阪大学は、そのモットーである「地域に生き世界に伸びる」を実践していくために、多様な知と人材が交差し、新たな価値を創出できるオープンコミュニティを創出します。

懐徳堂と適塾の精神に基づき、学術、文化、芸術、医療における拠点として地域社会に貢献します。地域の多彩な担い手と積極的につながり、社会の在り方を模索することで総合大学としての可能性を最大限に発揮していきます。

また、グローバル社会との交流を活性化し、多様な文化的背景をもつ人々との切磋琢磨を通じて教育研究活動を深化させます。人類が直面する複雑な課題に立ち向かい、希望ある未来を切り拓くために、グローバルなネットワークを活かした学術交流、国際協力、国際産学共創等のための学内体制を整備し、海外拠点活動を充実します。

文化、言語、ジェンダーを超えた多様性を育むキャンパスを実現し、卒業生、元教職員等の世代を超えたネットワークに支えられたオープンコミュニティを築いていきます。「大阪大学で学んで良かった」、「大阪大学で働いて良かった」と実感し、さらには懐かしく思いを馳せることのできるキャンパスにしていきます。



### ● 学術・文化・芸術の地域拠点の形成

大阪大学発祥の地である中之島地区で学術、文化、芸術に関するネットワークを構築し、文化創造に資する活動を推進します。中之島センターを核として、21世紀懐徳堂、適塾記念センター、総合学術博物館が連携し、知の地域拠点としての使命を果たします。

### ● 地域医療からグローバル医療に貢献する附属病院のさらなる進化

地域中核病院として、社会の要請に応じた先進的医療を提供するとともに、グローバルに活躍できる全人的医療人の育成を行い、教育・研修機関としての大学病院のさらなる進化を目指します。

### ● グローバルなネットワークの拡大による知の協奏と共創

総長のトップ外交から、部局の国際共同研究、学生の海外留学まで、世界各地のパートナー機関とのダイナミックなネットワークを築き、学生や教職員がグローバル社会でその真価を最大限に開花できる環境を創出します。

### ● オープンでサステイナブルなキャンパスの構築

多様な人材と知が交差する空間として、地域活動や国際交流に貢献でき、地球環境への配慮も視野に入れた安心で快適なキャンパスを構築します。魅力的な施設整備や既存施設の効率的運用を推進し、将来にわたり世界最高水準の教育研究が展開できる場を提供します。

### ● 新たな広報展開による世代間ネットワークの構築

大阪大学が有する歴史、優れた人材、卓越した教育研究内容をブランド価値とし、「地域に生き世界に伸びる」広報を展開します。在学生、現教職員、さらには卒業生、元教職員等の世代を超えたネットワークを構築し、「大阪大学ファミリー」として生涯にわたる絆を育みます。

# Open Governance

たゆまぬ自己変革のもとで社会の負託に応えるために、構成員一人ひとりの可能性を最大限に引き出し、安定的で健全な大学経営を行うとともに、リーダーシップと合意形成のバランスを重視した透明性のある「オープンガバナンス」を実践します。

## ビジョン

## 目 標

大阪大学は、絶えず自己を変革していくという伝統を継承し、自主独立の気概のもと、「学問の府」として、教育、研究、社会貢献すべての分野でさらなる高みを目指してきました。大学が岐路に立つ今、大阪大学に求められているのは、ダイバーシティを重視し、学生、教職員等の大学の構成員一人ひとりの可能性を最大限に引き出すことです。個々人の能力を結集し、あらゆる部局が自己革新のもとに創生を図り、世界屈指の研究型総合大学としてしなやかに飛躍するために、総長のリーダーシップと構成員の合意形成のバランスのとれた大学運営を行い、高い透明性をもったオープンガバナンスを実践します。

中長期的な視野に立った安定的で健全な経営を行い、国際、財務、法務、広報等、大学運営に関わる専門分野における優秀な人材の養成を積極的に進めます。「学びがい、生きがい、働きがい」のある教育研究環境、職場環境づくりに取り組むことによって、大阪大学はわが国を希望に満ちた未来へと牽引するフロントランナーの役目を果たしていきます。



### ● リーダーシップと合意形成のバランスに基づく高い透明性をもった大学運営

総長のリーダーシップのもと、大学の強みや特色を生かした機動的なガバナンス体制を構築するとともに、構成員と調和のとれた合意形成を目指した透明性のある大学運営を実現します。

### ● 男女協働をはじめとする全構成員が生き生きと活躍できる魅力ある環境づくり

仕事と育児・介護をトータルにとらえ、構成員一人ひとりがどのようなライフステージにあってもその個性と能力を最大限に発揮できる環境を整備し、ダイバーシティを実現します。

### ● 大学運営を支える優秀な人材の確保と専門人材の養成と活用

厳しい財政状況の中、組織・人員・業務の効率化を徹底し、大学への貢献が顕著な者を処遇できる職場を目指します。能力向上の機会の提供や、働きやすい勤務環境の整備により、職種を問わず多様な人材が高い成果を上げる職場を実現します。

### ● 中長期的財政ビジョンに基づく堅実な大学経営

学内の中長期財政需要を把握し、資金融通への積極的介入を行うことで、会計年度を越える財政運営を行うとともに、事業の意義と成果の検証を通じて、予算の重点的配分や事業の改廃を推進します。

### ● 安定的で健全な経営のための自主財源の確保

社会的価値創造によってもたらされる効果を自主財源の確保と増大につなげ、創立90周年に向けて、大阪大学未来基金の拡充を図ります。さらに、政府による規制緩和の動向に対応して、資金や資産を戦略的かつ効果的に運用します。

### ● 安全・快適で持続的な教育研究環境の構築

学生、教職員等が、それぞれの活動に気持ちよく専念できる環境構築に向け、ハード、ソフトの両面から対策を図り、構成員のリスクに対する意識を啓発します。

